

資料 1

妊婦の助産外来・院内助産サービスに対する利用意向調査  
(調査項目一覧)

QS1 あなたの今の妊娠または出産後の状況としてあてはまるものをお選びください。  
(回答は 1 つ)

QS2 妊娠または育児は初めてですか。あてはまるものをお選びください。(回答は 1 つ)  
はい いいえ

QS3 あなたの現在の家族構成をお選びください。(回答は 1 つ)  
夫 (事実婚含む) との二人家族  
夫 (事実婚含む) と子どもの親子家族  
夫と (事実婚含む) 子ども、どちらかの親との三世代家族  
未婚 (婚姻予定なし) で一人暮らし  
未婚 (婚姻予定なし) で家族と同居 その他

QS4 は誤解等防止用の質問 (省略)

QS5 あなたの年齢をお答えください。(回答は半角数字で入力)

Q1 あなたの住んでいる地域の「妊娠中の診察や分娩を行う施設 (病院、産科クリニック、助産所)」の状況についてあてはまるものをお選びください。(回答は 1 つ)  
多くの施設があり、自分の希望に合った施設を選ぶことができる (できた)  
施設は限られているが、自分の希望に合った施設がある (あった)  
施設が限られており、自分の住む地域以外の施設を選択する (した)  
施設が限られており、希望と違ってても分娩可能な施設を選ぶしかない (なかった)  
よくわからないので、とりあえず行ける施設に行く (行った)

Q2 あなたが妊婦検診や分娩する施設を選んだ時、以下の項目をどの程度重視しましたか。各項目に対するあなたの重視度をお選びください。(回答は横の行ごとに 1 つずつ)  
・自宅から近い施設かどうか  
1. 全く重視しない 2. あまり重視しない 3. どちらともいえない 4. まあ重視する 5. 非常に重視する  
・両親の家から近い施設かどうか  
・待ち時間が短い施設か  
・自分の思想や嗜好にあったお産をさせてくれるかどうか  
・有名な医師がいる施設かどうか  
・緊急時に母体と胎児を救命可能な高度な施設かどうか  
・母体や胎児の問題にある程度対応可能な施設かどうか

- ・助産師のいる施設か

**Q3** あなたが妊娠中に得たいろいろな情報のうち、誰から（またはどこから）得た情報が役に立ちましたか（役に立っていますか）。以下の情報源についてあなたが「役に立った（立っている）」と思われる度合いとしてあてはまるものをお選びください。

- ・通院している（いた）施設の主治医

1. 全く役に立たなかった 2. あまり役に立たなかった 3. どちらともいえない 4. まあ役に立った 5. 大いに役に立った

- ・通院している（いた）施設の助産師
- ・通院している（いた）施設の看護師
- ・家族（母親、祖母、その他）
- ・友人
- ・妊娠、分娩、育児などの雑誌、本、辞典
- ・女性、助産などに関するインターネット検索・閲覧
- ・ネット、メールなど通じた仲間からの情報

**Q6** もし、あなたの妊娠・分娩・産後経過に問題がない（リスクが低い）と想定した場合、あなたは誰から診察や保健指導を受けたいと思いますか。以下の診察や保健指導についてあなたが「受けたい」と思う度合いとしてあてはまるものをお選びください。（※現在のあなたの妊娠・分娩・産後経過に問題がある（リスクが高い）方は、問題がない（リスクが低い）妊娠・分娩・産後経過であると想定してお答えください。）（回答は横の行ごとに1つずつ）

- ・医師のみによる診察

1. 全く受けたくない 2. あまり受けたくない 3. どちらともいえない 4. 受けてもいい 5. ぜひ受けたい

- ・医師と助産師の両方からの診察
- ・助産師のみによる診察
- ・助産師による保健指導
- ・保健師ほか関連職種による保健指導

**Q7** 妊娠・分娩・産後経過中にあなたが必要とした（必要としている）情報やサービスはどのようなものですか。以下の情報やサービスについてあなたが「必要」と思われた（思われる）度合いとしてあてはまるものをお選びください。

- ・妊娠が分かった時どのような施設に行けばよいかに関する情報やサービス

1. 全く必要なかった 2. あまり必要なかった 3. どちらともいえない 4. まあ必要であった 5. 大いに必要であった

- ・妊娠が分かった時どんな社会資源が利用できるかに関する情報やサービス
- ・生活全般に関する情報やサービス
- ・性生活に関する情報提供

- ・美容や身だしなみに関する情報やサービス
- ・妊娠中の栄養に関する情報やサービス
- ・母乳に関する情報やサービス
- ・産後の育児の仕方に関する情報やサービス
- ・漠然とした不安に対する支援の情報やサービス

Q8 あなたは「助産外来」を知っていましたか。あてはまるものをお選びください。(回答は1つ)

- 知っていた
- 聞いたことはあるが詳しくは知らなかった
- 全く知らなかった

Q9 あなたは「助産外来」を実際に利用していますか(利用しましたか)。あてはまるものをお選びください。(回答は1つ)

- 利用している(した)
- 利用していない(しなかった)

Q10 あなたは「院内助産」を知っていましたか。あてはまるものをお選びください。(回答は1つ)

- 知っていた
- 聞いたことはあるが詳しくは知らなかった
- 全く知らなかった

Q11 あなたは「院内助産」を実際に利用していますか(利用しましたか)。あてはまるものをお選びください。(回答は1つ)

- 利用している(した)
- 利用していない(しなかった)

Q12 「助産外来」または「院内助産」のいずれか、または両方を「利用している(した)」方におうかがいします。あなたは、このような「院内助産システム」のどのような点に良さを感じられていますか。以下の点についてあなたが「良い」と思われる度合いとしてあてはまるものをお選びください。(回答は横の行ごとに1つずつ)

- ・助産師の診察や指導は時間を充分かけるから
  1. 全くそう思わない
  2. あまりそう思わない
  3. どちらともいえない
  4. ややそう思う
  5. 大いにそう思う
- ・助産師は産婆として、長い歴史のあるプロフェッショナルであるから
- ・助産師のほうが聞きやすい雰囲気があるから
- ・助産師のほうが女性同士として安心感があるから
- ・助産師の外来やケアは、待ち時間が少ないから
- ・助産師は妊娠・分娩等の希望をかなえてくれると思うから

**Q13** 「助産外来」または「院内助産」のいずれか、または両方を「利用していない（しなかった）」方におうかがいします。あなたが、このような「院内助産システム」を利用していない（しなかった）理由としてあてはまるものを全てお選びください。（複数可）

- 利用を希望したが、通院していた施設に助産外来や院内助産がなかった
- 利用を希望したが、通院していた施設が実施しているかどうかわからなかった
- 診察は医師がすべきで、医師以外の方が診察するというイメージが湧かない
- 助産師による診察や保健指導が医師に比べて特別重要と思わない
- 助産師がそれほどの能力をもっているとは思えない
- 何もなければ助産師による診察でもよいが、何かあったときのことが心配だから
- 周囲の友人などの経験を聞いて、あまり気が進まないから

**Q14** あなたは妊娠や分娩をどの程度「危険なもの」と感じています（した）か。あてはまるものをお選びください。（回答は1つ）

- 全く危険などは感じない
- あまり危険などは感じない
- 必要以上に心配はいらぬが危険もある程度は当然、伴うものである
- 少なからず危険性はある心配である
- とても危険で強い不安を感じる

**Q15** 1日のうちあなたの自由になる時間はどのくらいですか。（※就業時間と家事をしている時間は除いてください。）（回答は半角数字で入力）※自由になる時間がない場合は両方の記入欄に「0」と入力してください。

時間                      分

\*回答者属性（年齢階層、職業、所得階層）は省略

今のところ機会が無い  
リスクあり妊娠だったので受けられなかった  
ハイリスク出産だったから  
助産外来自体があることは聞いたが、必要なときは勧めますと言われたが、その後特に勧められなかったから  
まだ利用していないだけで、妊娠週数が進んでから利用しようと考えている。  
初めは全然知らなかったので  
利用する機会がなかったから  
まだ分からない  
助産院でお産しました  
リスクのある出産だったため  
病院から特に勧めがなかった  
持病があったからやめた  
前回の手術の都合上、医師の診察が必要だった。  
ハイリスクの為、利用が出来なかった。  
初産の人はたいしょうがいだった  
助産師外来は本院にあって普段は分院に通っていて本院まで行くのが面倒だったから  
助産師外来は利用したが、初産だったため院内助産は利用しなかった。  
助産院で出産したため、助産師しかいなかった。  
地元になかった。  
利用したかったが、里帰り出産だったため里帰りの病院は34週から通院したため予約がいっぱいで利用できなかった。  
ハイリスク妊婦なので、医師の診察が必要だから  
院内助産を希望したが、高齢のため許可されなかった  
長い間入院していたから受けられなかった  
情報がなかったから  
希望したかったがハイリスクだった  
有料だったから  
院内助産は経産婦のみしか利用できないため  
ポリプリスクがあったのと、高齢出産ギリギリだったから医師に頼りたかった  
高齢だったため不安があったから  
初めての出産なので、安心感がほしかった。  
分娩先の病院は院内助産システムらしいが、まだ利用していないので  
施設が自宅近くになかった  
まだ妊娠初期なので利用していないが、今後様子を見て利用したい  
自分のいきつけの病院では表だってやっていなかったから  
妊娠の経過が悪く、ハイリスク出産になったため  
医師から詳しく診察してもらったほうが安心できるから  
産院が少なく選択肢がなかったから。  
まだ詳しく医院から話を聞いていない  
初期に筋腫が確認され、医師の診察が必要と考えたため。ただ、通院している病院では保健指導や測定は助産師が行っています。  
言われるままにしていたから

まだ利用できる週数ではないから。利用するつもりではいる。

名まえは聞いていても近くにあるのかどうか分からなかった

里帰り先の病院が助産外来があったが、里帰りしてからは出産が近かったので利用できなかった。

ハイリスク妊娠のため

前置胎盤かもしれないので助産師外来は受けれるかどうか分からなかった。里帰り出産のため、里帰り先の産婦人科にかかることになった。

自分が小さく、出産にリスクがあったから

リスクがある妊娠なので

ハイリスク妊婦なので毎回医師の診察となるから

初産で心配だったから

通院した病院に院内助産院があるが多胎のため利用できなかった

近所に実施している施設がないわざわざ助産外来や院内助産

里帰り先でタイミングが合わなかったため

助産師さんの存在は心強く必要だが診察は医師にして欲しい

逆子で医師の診察が必要だったから

医師に相談した

希望した時期が遅く、利用できなかった

日時が合わずに受けられなかった

助産外来があったが、切迫早産のため利用できなかった

ハイリスクだったため

当初院内助産の予定だったが、促進剤を使ったので医師との分娩に変更になった

病気があるから駄目だった

今の病院にはなかったから

出産条件で利用できなかった

妊婦健診の助成が対象外なのと、小柄で最悪帝王切開の可能性があったため

時間が限られており、タイミングがあわなかった

リスクがあったため希望していたが利用できなかった

今月末に受診予定

病院での院内助産が周期で受けられるから

現在相談する内容がないから

持病があるので助産師では対応しきれない

院内助産をやっている病院の医師の評判がよくなかった

別途料金がかかるため

リスクがあったので大学病院に妊娠中に紹介された

ハイリスクだったから

助産師外来を希望していたが、話しやすい医師がいたから。

助産師という存在についてあまり考えてなかった。産んでから大きな存在であることに気付いた。

もともとかかりつけの産婦人科があってその病院を信頼していたし、出産は実家から近い病院に決めてたから。

医師の診察だけでも安心していただけ。

健診時に毎回医師が次回の予約をとってくれるので、機会がありませんでした。出産は帝王切開だったので院内助産も

ハイリスク妊婦だったため

## 研究成果

### 研究論文

1.末村まい,齋藤いずみ,戸田まどか,岩崎三佳,西海ひとみ,渡邊香織,出産体験の「自己評価」および「満足度」の尺度に関する文献研究,兵庫県母性衛生学会雑誌,Vol 20,36-42,2011

### 学会発表

1.齋藤いずみ,伊藤道子,遠藤紀美恵,西基,分娩第1期から分娩第4期における医療行為と看護行為の安全性に関する総合的分析,日本母性衛生学会総会,Vol 52,No.3,139,2011

2.齋藤いずみ,ベルギーにおける周産期医療制度と助産師の教育制度,日本母性衛生学会総会,Vol 52,No.3,230,2011

